

目の不自由な方々向け、お札識別アプリ 「言う吉くん」の開発

Development of “U・Qui・Ch-kun”, an app for identifying Banknotes for visually impaired people.

概 要

国立印刷局は、目の不自由な方々を含めて、あらゆるユーザーの皆様がストレスを感じることなく、また気持ちよくお札(日本銀行券)を使用できることを目指し、目の不自由な方々にとってお札がより使いやすいものとなり、券種識別が容易になるよう、デザイン面やその他において様々な取組を行っています。

お札の左右下側には額面ごとに異なる識別マークを付していますが、平成16年に現行シリーズを導入した際、それまではすかしを用いたマークであったものを、インキを盛り上げて印刷する方式に改め、一層の識別性(ザラツキ)を持たせるという改良を行いました。

他方で、目の不自由な方々からは、これらの違いだけで券種を認識することは困難であることから、更なる識別性の向上を求めるといった意見を頂きました。このような状況を踏まえ、可能な限り早期に要望に応えるため、財務省及び日本銀行とともに、目の不自由な方々にお札の券種識別手段を提供する取組の一つとして、お札識別アプリ「言う吉くん」(iPhone用)の無料配信を2013年12月3日から開始しました。

本アプリケーションは内蔵カメラを使ってお札を映すだけで、その額面を音声や画面でお知らせします。主に、目の不自由な方々にとって、お札の額面を確認する補助的な役割を果たします。内蔵カメラでお札を読み取るように撮影すると、その額面を音声や画面表示でお知らせします。

今回のお札識別アプリの開発を含めた各種改良の実施に当たっては、全国の視覚障害者団体の方々からモニタリングやアンケートのご協力を頂くなど、目の不自由な方々の要望を具体的に反映できるよう心掛けました。

この取組によって、お札の識別性が更に向上することが期待できます。

